

鶏 肉 情 勢

2026/2/10 更新

全農チキンフーズ(株)

項 目		内 容		実 績																						
供給	1. 国内	(1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和8年1月末実施)によると、12月の処理出荷推計実績は処理羽数67,707千羽(前年比100.2%)で、前月時点の計画値から1.5%上方修正された。処理重量209.0千ﾄﾝ(同101.0%)は、前月時点の計画値から2.7%上方修正されている。産地からの報告は、育成が順調であるというものが多かったが、一部の農場で寒さの影響による大腸菌の発生等が報告されており、農場ごとの成績差が大きくなっているという声も多く聞かれた。1月は、処理羽数、処理重量ともに前年同月比100.8%の見通しと、前月時点の予測からそれぞれ上方修正されている。また、2月は前月予測からわずかに上方修正され処理羽数は99.4%、処理重量は99.0%となった。3月は処理羽数前年同月比2.0%、処理重量は1.4%それぞれ減少の予測となっている。工場の人員については引き続き不足が課題となっている中、副産品(小肉・剣状軟骨など)・手羽中半割等の1.5次加工品は機械を導入し製造している産地が引き続き見られ、今後他産地にも広がっていくと予想される。																								
	2. 輸入	(1) 財務省の貿易統計によると、令和7年12月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から+2.3千ﾄﾝの45.4千ﾄﾝ、国別ではブラジルが前月+0.5千ﾄﾝの28.2千ﾄﾝ、タイが+2.5千ﾄﾝの16.8千ﾄﾝとなった。(独)農畜産業振興機構(ALIC)によると今後の見通しは、輸入量は1月は47.0千ﾄﾝ(前年比89.8%)、2月は49.9千ﾄﾝ(同104.5%)と1月は減少、2月は増加する予測である。要因としては、「輸入量は主要輸入先であるブラジルやタイにおいて、労働者不足等により生産量が減少した影響等を受けて、1月は前年同月をかなりの程度下回る一方、2月は前年のブラジル国内及び他国向けの需要の高まりによる価格上昇により、ブラジル産の輸入量が低水準であったこと等から、前年同月をやや上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をやや下回ると予測する。」とされている。  (2) 令和7年12月の鶏肉調整品の輸入量は前月から+3.2千ﾄﾝの50.5千ﾄﾝ、国別では中国が+1.1千ﾄﾝの20.8千ﾄﾝ、タイが+2.4千ﾄﾝの28.8千ﾄﾝとなった。  (3) ㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、12月の輸入鶏肉(モモ肉)の価格はブラジル産で550円/kgから580円/kg(前年390円/kg)、タイ産が550円/kg中心(同450円/kg)となっている。要因としては「輸入品は依然として市中タイト感が強い。ブラジル産モモ正肉は600円超まで上昇しているものの、基本的にモノが出回らない状況。現地価格高や円安の影響で先の買付けも少ないと見られ、締まった展開が続くとみられる。」と報告されている。																								
	1. 家計消費	(1) 総務省統計局発表の家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)によると、令和7年12月の生鮮肉消費(購入)は数量4,704g(前年比100.1%)、金額9,093円(同102.2%)と、数量・金額ともに前年を上回った。鶏肉は数量1,833g(同101.8%)・金額2,112円(同106.0%)・単価115.2円/100g(前年同月差+4.5円)と数量・金額・単価ともに前年を上回った。牛肉は数量・金額ともに前年を下回った。豚肉も数量は前年を下回ったが、金額は前年を上回った。																								
需要	2. 量販・卸	(1) (一社)全国スーパーマーケット協会の販売統計調査によると、令和7年12月の食品売上高は全店ベースで前年比102.0%と前年を上回り、生鮮3部門の売上高は全店ベースで同100.6%、既存店ベースは同99.8%。畜産部門の売上高は約1,525億円で全店ベース同102.5%、既存店ベース同101.7%となった。また同社が取りまとめたスーパーマーケット景気動向調査によると、「引き続き、豚肉と鶏肉への需要シフトが継続、国産は堅調に推移し、輸入が不振となった。牛肉は引き続き高騰しており、手頃な価格帯の商品が好調となった。豚肉は相場がやや落ち着き、しゃぶしゃぶ用や挽肉、大判パックなど日常使いの商材が伸びた。鶏肉はモモや手羽など鍋用商材の需要は地域により差もみられた。加工肉は生ハムやローストビーフなど一部で好調な商品もみられたが、ハム・ソーセージやギフト類は苦戦した。クリスマス商戦、歳末商戦はご馳走需要が好調で和牛に動きがみられた。」と報告されている。																								
	3. 業務・加工筋	(1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによると令和7年12月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比107.5%の4.5千ﾄﾝとなった。うち国内品は同96.1%の3.3千ﾄﾝ、輸入品については同162.1%の1.2千ﾄﾝと輸入品は前年を上回ったものの、国内品は前年を下回る結果となった。																								
在庫	1. 令和7年12月	(1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)の12月末時点推定期末在庫では国産品36.4千ﾄﾝ(前年比123.0%)、輸入品111.7千ﾄﾝ(同82.7%)、合計で148.0千ﾄﾝ(同90.0%)となった。																								
	2. 見通し	(1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)が発表した鶏肉需給表では、12月の出回り量は国産品154.6千ﾄﾝ(前年比99.3%)、輸入品55.3千ﾄﾝ(同101.9%)、合計209.9千ﾄﾝ(同100.0%)となり、前月からは国産品・輸入品ともに出回り量は増加した。1月以降、「出回り量は、1月はわずかに、2月はやや、いずれも前年同月を上回ると予測する。期末在庫は、1月はかなり大きく、2月は大幅に、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、過去5ヶ年の同月平均との比較でも、1月はかなり大きく、2月は大幅に、いずれも下回る(1月:11.1%減、2月:18.9%減)と予測する。」とされている。																								
相場	1. 令和8年1月動向	(1) 令和8年1月の月平均相場は、モモ肉829円/kg(前月差+52円)・ムネ肉538円/kg(同▲1円)正肉合計で1,367円/2kgと前月差+51円、前年同月差+219円となった。㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、「月後半に入っても、国産生鮮モモの日経相場は高止まりしている。例年であれば徐々に下げに向かう時期となるが、生鮮・凍結品ともに引合いが強く、下がる気配は感じられない。一方、ムネの荷動きは鈍く、相場もわずかに下げているものの、それでも530円台と高値圏内に変わりはない。輸入品は国内在庫が減少傾向にあるなか、市中ひっ迫状態が続き、高値に張り付いている。現地オファーも強気にあるため、買付けを大幅に増やすような状態ではないようだ。」と報告されている。																								
	2. 見通し	(1) (一社)日本食鳥協会による生産・処理動向調査では、1月の生産状況は入雛羽数・処理羽数・処理重量ともに前年同月比を上回る見込みとなっている。国産鶏肉相場は、年末の最需要期を越え、年明けの相場は落ち着く予測であったが、他畜種含め輸入状況、国産鶏肉処理場の年末年始休業によるフレッシュ在庫の品薄状況もあり、モモ肉の1月相場は高値で推移。ムネ肉は、4月以降輸入品の国内流通もあるが、依然高止まりが続いている。円安時に成約した輸入鶏肉の国内流通価格が上昇している影響で凍結国産鶏肉モモへの調達シフトもあり、今後も国産鶏肉相場の動向が気になる。このような事を踏まえ今後の相場は、モモ肉は2月は800円、ムネ肉は一部原料を輸入品に代替えしている加工メーカーもあることと、一部の量販店で国産鶏肉ムネ肉の販促強化もみられ、530円前後で推移すると予測する。  (2) 令和7年シーズンの国内養鶏場・家きん農場における鳥インフルエンザは、2月9日(月)時点で18事例確認されている(採卵鶏13事例、肉用鶏3、肉用種鶏1、うずら1事例)。																								
		※参考資料: ㈱全国食鳥新聞社発行「PMN」																								
		生産状況																								
		単位: 千羽、千トン、%																								
		R7年累計(推計)		R7年12月実績(推計)		R8年1月計画		R8年2月計画		R8年3月計画																
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比											
入雛羽数		805,066	101.4%	71,585	102.4%	68,375	101.2%	61,352	97.9%	64,340	99.2%															
処理羽数		763,029	101.6%	67,707	100.2%	61,673	100.8%	58,559	99.4%	64,829	98.0%															
処理重量		2,299.0	101.1%	209.0	101.0%	186.8	100.8%	177.3	99.0%	199.4	98.6%															
※参考資料: ㈱全国食鳥新聞社発行「PMN」																										
輸入動向																										
単位: 千トン、%																										
品名		鶏肉			調製品			合計			比率															
履歴		当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品														
R5年累計		584.9	574.5	101.8	478.0	525.8	90.9	1,062.9	1,100.3	96.6	55.0	45.0														
R6年累計		639.2	584.9	109.3	503.2	478.0	105.3	1,142.4	1,062.9	107.5	56.0	44.0														
R7年8月		49.6	56.7	87.5	41.5	39.8	104.2	91.1	96.5	94.4	54.5	45.5														
R7年9月		57.8	49.1	117.6	45.0	39.9	112.8	102.8	89.0	115.5	56.2	43.8														
R7年10月		57.3	62.3	92.0	49.0	47.9	102.2	106.3	110.2	96.4	53.9	46.1														
R7年11月		43.1	52.0	82.9	47.3	46.2	102.4	90.4	98.2	92.1	47.7	52.3														
R7年12月		45.4	49.9	90.8	50.5	45.6	110.8	95.9	95.5	100.4	47.3	52.7														
※参考資料: (独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」																										
鶏肉の消費動向																										
単位: グラム、円、%																										
履歴		数量			金額																					
		当年	前年	前年比	当年	前年	前年比																			
R5年平均		1,495	1,510	99.0	1,547	1,448	106.8																			
R6年平均		1,552	1,495	103.8	1,586	1,547	102.5																			
R7年8月		1,449	1,399	103.6	1,575	1,427	110.4																			
R7年9月		1,441	1,526	94.4	1,599	1,467	109.0																			
R7年10月		1,583	1,584	99.9	1,734	1,595	108.7																			
R7年11月		1,630	1,586	102.8	1,789	1,629	109.8																			
R7年12月		1,833	1,801	101.8	2,112	1,993	106.0																			
※参考資料: 総務省統計局HP「家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)」																										
在庫状況(推定)																										
単位: 千トン、%																										
履歴		国産			輸入品			合計																		
		当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比																
R7年8月		33.2	35.1	94.5	126.7	137.9	91.9	159.9	173.0	92.4																
R7年9月		33.9	33.2	102.2	130.3	136.5	95.4	164.1	169.7	96.7																
R7年10月		34.4	32.2	107.0	129.9	141.1	92.0	164.3	173.3	94.8																
R7年11月		35.2	30.8	114.4	121.6	139.3	87.3	156.8	170.1	92.2																
R7年12月		36.4	29.6	123.0	111.7	134.9	82.7	148.0	164.5	90.0																
※参考資料: (独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」																										
出回り量(推定)																										
単位: 千トン、%																										
履歴		国産			輸入品			合計																		
		当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比																
R5年累計		1,689.0	1,683.1	100.4	606.3	563.3	107.6	2,295.4	2,246.5	102.2																
R6年累計		1,721.2	1,689.0	101.9	619.9	606.3	102.2	2,341.1	2,295.4	102.0																
R7年8月		136.2	130.4	104.4	47.0	52.4	89.8	183.2	182.8	100.2																
R7年9月		141.8	137.9	102.9	54.2	50.5	107.3	196.1	188.4	104.1																
R7年10月		150.6	148.6	101.4	57.7	57.7	100.0	208.4	206.4	101.0																
R7年11月		142.2	145.7	97.6	51.3	53.8	95.5	193.5	199.4	97.0																
R7年12月		154.6	155.6	99.3	55.3	54.3	101.9	209.9	209.9	100.0																
※参考資料: (独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」																										
相場(月別)																										
単位: 円、%																										
品名		モモ肉			ムネ肉			正肉合計																		
履歴		当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比																
R5年度平均		700	702	99.7	384	371	103.5	1,084	1,073	101.0																
R5年平均		730	662	110.3	395	348	113.5	1,125	1,010	111.4																
R6年平均		655	730	89.7	369	395	93.4	1,024	1,125	91.0																
R7年10月		731	652	112.1	557	379	147.0	1,288	1,031	124.9																
R7年11月		736	690	106.7	545	392	139.0	1,281	1,082	118.4																
R7年12月		777	730	106.4	539	404	133.4	1,316	1,134	116.0																
R8年1月		829	745	111.3	538	403	133.5	1,367	1,148	119.1																
R8年2月		(800)	744	107.5	(530)	394	134.5	(1,330)	1,138	116.9																
R8年3月		(790)	740	106.8	(530)	392	135.2	(1,320)	1,132	116.6																
※()は見通し																										